



川中だより

令和6年3月25日(月)発行

新発田市立川東中学校

学校だより 第12号

TEL (25)2011 FAX (25)2022

<https://kawahigashi-j.shibata.ed.jp/>

校長 清水 謙一

3月4日に卒業証書授与式を無事終え、42名の卒業生の門出を祝うことができました。卒業式を挙げるにあたり、受験を控えた生徒が多くいたこともあり、感染症に配慮するため一部の来賓の皆様をお招きし、卒業生、保護者、在校生については制限をせずに、多くの皆様と一緒に卒業生を送り出すことができ、校長として喜びでいっぱいです。

卒業式の中で私が卒業生に伝えた式辞の一部を紹介します。

夢や希望をもって前向きに努力することを大切にしてください。しかし、時には苦しいこと、うまくいかないこと等その壁にはばまれることもあるかもしれません。そのような時は、遠慮なく誰かに相談することも必要です。本気で努力していれば、必ず誰かが救いの手を差し伸べてくれるはず。また、失敗することを恐れなくてください。失敗は成功へのステップです。失敗を恐れず、夢や目標をつかみ取るために本気で挑戦し続けて欲しいと思います。

皆さんのこれからは、幸多き人生になることを教職員一同心から願い、応援しています。

これは、この一年間全校朝会や終業式などの校長講話で生徒達に伝えてきた内容をまとめたものであり、私自身が学校経営で大切にしてきた言葉を集約したものです。

夢や希望(目標)をもつことは、自身の生活に活気をもたらします。しかし、人は新たな挑戦を試みようとして決意しても「失敗」を恐れるがあまり、「どうせ自分なんて・・・」と勇気を出して大きな一歩を踏み出せないことがあります。この式辞を通して、生徒達に挑戦することの重要性を考えてほしいのです。

アメリカのプロバスケットボールNBAのスーパースターで、今も多くのバスケットボール選手から尊敬されているマイケル・ジョーダン選手は現役時代にこう言っています。

「I can accept failure, everyone fails at something. But I can't accept not trying」

「誰もが何かに失敗する、だから失敗は受け入れられる。しかし、挑戦しないことは受け入れられない」

これからも、川東中学校での経験を活かし、高校生活さらには社会で羽ばたいてほしいと切に願っています。

話は変わって、後の記事にも掲載していますが、3月6日～8日に2年生が北陸地方(福井、石川、富山)に行ってきました。当初、心配していた地震の影響もなく、生徒達は充実した3日間を過ごすことができました。この修学旅行に伴い、生徒が被災地に義援金を贈ることを計画し、地域の皆様にお知らせしたところ、地域を挙げてご協力いただき、深く、深く感謝申し上げます。今回のアルミ缶回収及び募金により集まったお金は合計138,402円となり、3月1日に日本赤十字社に寄贈することができました。

また、この活動を通して生徒達は、ただ修学旅行に行っただけでなく、被災地のことを学び、災害について深く考える機会を得られただけでなく、地域の皆様の協力の下、「誰かの役に立つ・・・貢献する」ことの大切さや意義について身をもって知ることができたのではないかと嬉しく思います。本当にありがとうございました。